

4685-LOG 固定式スキャナー



**セットアップ、操作および保守の手引き**



## 電磁環境両立性規定

### 情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）表示

電波障害自主規制 届出装置の記述
------------------

<b>注意</b>
-----------

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。 この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合にはユーザーが適切な対応を講じる必要があります。
---

#### 商標

IBM および IBM ロゴは、IBM Corporation の米国およびその他の国における商標です。

PSC および Magellan は、PSC Inc.の登録商標です。

第 1 刷 2005.2

この文書に含まれる内容は変更になる場合があります。変更については、本書の改訂版またはテクニカル・ニュースレターにて通知します。

© Copyright International Business Machines Corporation 1999, 2003 All rights reserved

© Copyright IBM japan 2003





## 安全に正しくお使いいただくために

この製品を安全に正しくお使いいただくために、このマニュアルには安全表示が記述されています。このマニュアルを保管して、必要に応じて参照してください。

### 絵表示について

あなたとあなたの周りの人々への危害および財産への損害を未然に防止するために、このマニュアルおよびこの製品の安全表示では、以下の絵を表示しています。

 <b>危険</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

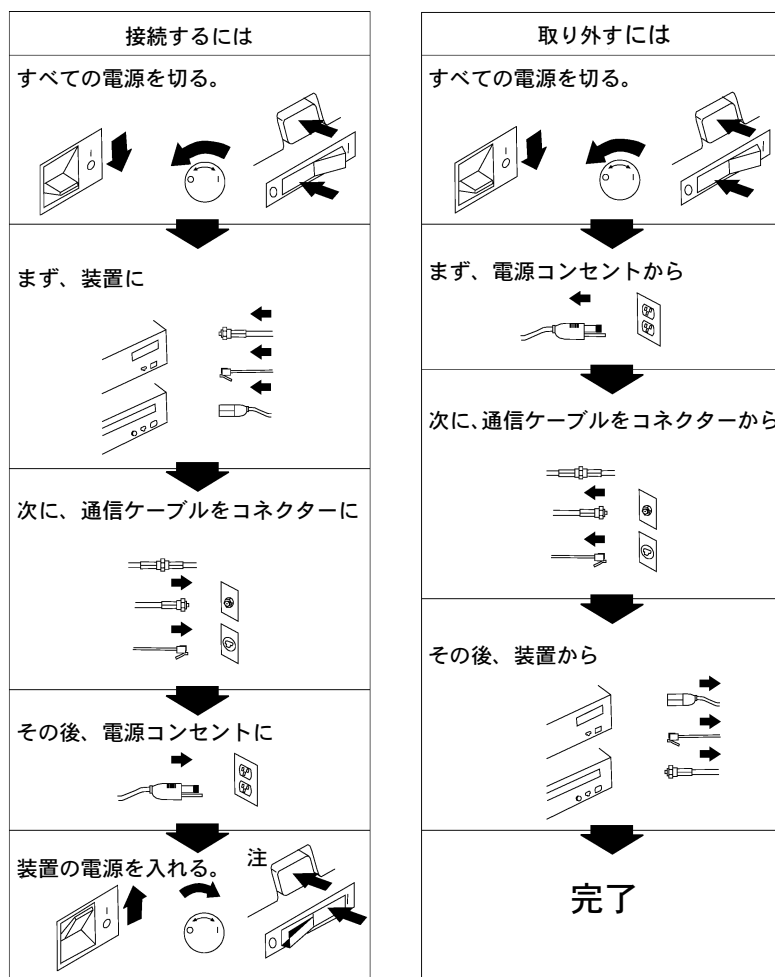
### **危険**

- ・ この製品を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- ・ この製品の構成に電話ケーブル接続、通信ケーブル接続が含まれている場合、付近に雷が発生しているときは、それらのケーブルに触れないようにしてください。
- ・ 電源プラグをコンセントに接続する前に、コンセントが正しく接地されており、正しい電圧であることを確認してください。
- ・ 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。
- ・ 万一、異物（金属片、水、液体）が製品の内部に入ったときは、すぐに製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

# ⚠ 危険

- ・ケーブル類の取り付け、取り外し順序。

電源コード、電話ケーブル、および通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。装置を設置、移動、または接続するときには、以下のようにケーブルの接続および取り外しを行ってください。また、電話回線、通信回線またはテレビのアンテナ線が接続されている製品は、雷の発生時には回線の接続または取り外しをしないでください。



## 注意


- ・電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。（必ずプラグを持って抜いてください。）
- ・湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- ・長時間使用しないときは、電源プラグをACコンセントから抜いてください。



### 注意

本製品は、IEC 60825-1 クラス1、CDRH クラスIIa、およびAS/NZS 2211.1:1997 クラス1 レーザー製品の要件に適合しています。

装置を操作する場合には、以下のことに注意してください。

- ・前面のウィンドウをのぞき込まないでください。前面のウィンドウからレーザー光線が出ており、目に傷害を及ぼす恐れがあります。
- ・レーザー光線を人の目に当てないようにしてください。   
レーザー光線は目に傷害を及ぼす恐れがあります。



- ・装置を分解しないでください。  
装置を分解する場合にも、レーザー光線が出ます。この装置では内部の保守作業は不要です。



---

## まえがき

本書では、IBM®4685-L0G 固定式スキャナーの取り付け、テスト、および操作に必要な情報を提供します。

- ・第 1 章では、本製品の簡単な紹介と取り付けに関する情報を記載しています。
- ・第 2 章では、ユーザーが設定できる機能およびその他の操作特性について説明します。
- ・第 3 章では、スキャナーの取り付け手順について説明します。
- ・第 4 章では、スキャナーの操作手順について説明します。スキャナーの効率的な操作方法と問題識別のためのテスト手順が含まれます。
- ・第 5 章では、保守について説明します。

---

## 関連資料

次のWebサイトを参照してください：

<http://www.pc.ibm.com/store/index.html>

安全に関する資料

- ・ IBM Safety Information—Read This First, GA27-4004 10/03

IBM SurePOS 700 シリーズ・システム  
システム・リファレンス

取り付けおよび操作ガイド

- ・ SurePOS 700 シリーズ SurePOS 720、740、および 780 計画、インストールおよび操作ガイド(日本語) (GA88-8343-00)
- ・ SurePOS 700 シリーズ SurePOS 720、740、および 780 ハードウェア保守ガイド(日本語) (SA88-8344-00)
- ・ SurePOS 700 シリーズ オプションおよび入出力デバイス保守ガイド(日本語) (SY88-8009-04)
- ・ SurePOS 700 シリーズ ブローシャー(日本語) (G540-0653)

IBM 4674 -121 POS端末

- ・ 取り付けおよび操作ガイド、55P3093
- ・ ハードウェア保守マニュアル、55P4179

POSS for Windows & POS Suite Guides

- ・ UPOS (OPOS/JavaPOS) 1.74 ユーザーガイド。キーボードとコードページ。
- ・ 取り付け、キーボードおよびコードページ、GC30-3623
- ・ プログラミング・リファレンスとユーザーガイド、SC30-3560



# 目次

安全に正しくお使いいただくために	iii
絵表示について	iii
まえがき	vii
関連資料	vii
<b>第 1 章 説明、仕様、および寸法</b>	1-1
スキャナーの説明	1-2
仕様	1-4
寸法	1-4
機関による承認	1-4
ユーザーによる保守	1-4
サポートされるスキャナー・コード	1-4
スキャン特性	1-5
オペレーティング・システム	1-5
RS-485 モデル	1-5
環境に関する考慮事項	1-6
作動時の温度と湿度	1-6
周辺照明のガイドライン	1-6
換気の要件	1-7
<b>第 2 章 4685-LOG 固定式スキャナーの構成</b>	2-1
4685-LOG 固定式スキャナーの構成方法	2-2
構成可能な機能	2-3
オペレーター用インディケータ	2-3
バーコードのデコード	2-3
バーコードの拡張	2-4
スリープ・モードの制御	2-4
EAN/JAN 2 段ラベル読み取りの設定	2-4
構成のプリント	2-8
<b>第 3 章 スキャナーの取り付け</b>	3-1
手順	3-2
スキャナーの構成	3-2
4690 OS のオンライン・テスト	3-3
<b>第 4 章 操作情報と説明</b>	4-1
緑色のインディケータ	4-2
操作モード	4-2
4685 によるスキャン	4-3
スピーカー音量の調整	4-4
ユーザーによる保守	4-5
インターフェースの選択	4-6

<b>第 5 章 保守担当者のための保守情報</b> .....	5-1
トラブルシューティング.....	5-2
処置 .....	5-2
診断テスト .....	5-4
自己診断 (BAT).....	5-4
診断テスト .....	5-4
部品 .....	5-5
接続および切り離し.....	5-6
POS インターフェース・ケーブル .....	5-6
スキャナーの安全性のチェック.....	5-7
保守担当者のための安全性のチェックリスト.....	5-7
スキャナーの点検.....	5-7
<b>付録. スキャナーのプログラム</b> .....	A-1
セットアップ .....	A-2
出荷時の設定に戻す.....	A-3
構成コマンド 無視/ 非無視.....	A-5
テスト・モード .....	A-6
サポートされるバーコード.....	A-7

## 第 1 章 説明、仕様、および寸法

スキャナーの説明	1-2
仕様	1-4
寸法	1-4
機関による承認	1-4
ユーザーによる保守	1-4
サポートされるスキャナー・コード	1-4
スキャン特性	1-5
オペレーティング・システム	1-5
RS-485 モデル	1-5
環境に関する考慮事項	1-6
作動時の温度と湿度	1-6
周辺照明のガイドライン	1-6
換気の要件	1-7

この章では IBM4685-L0G 固定式スキャナーの取り付けについて説明します。

---

## スキャナーの説明

4685-L0G 固定式スキャナーは、20本（5方向、4ライン）のスキャン・パターンによる幅広いスキャン範囲を備えた高性能スキャナーです。このスキャナーは、バーコードを左から右方向へでも、右から左方向へでも、どちらでも読み取ることができます。

可視レーザー・ダイオード（VLD）のテクノロジーが、改良されたデコードのソフトウェアと結びついたことにより一回目で読み取る確率が高くなり、オペレーターの効率の向上を可能にします。ラベルの印刷が濃すぎたり薄すぎたために、以前のスキャナーでは読み取りが困難であったラベルの多くが、一回目で読み取れるようになりました。

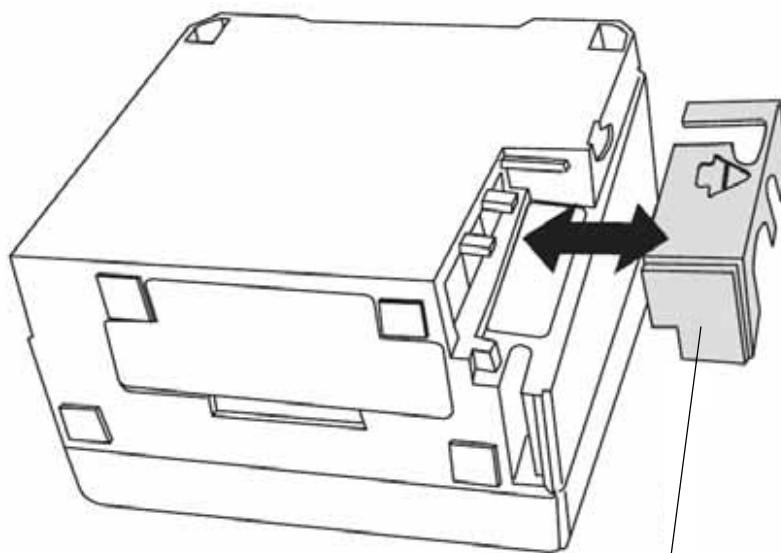
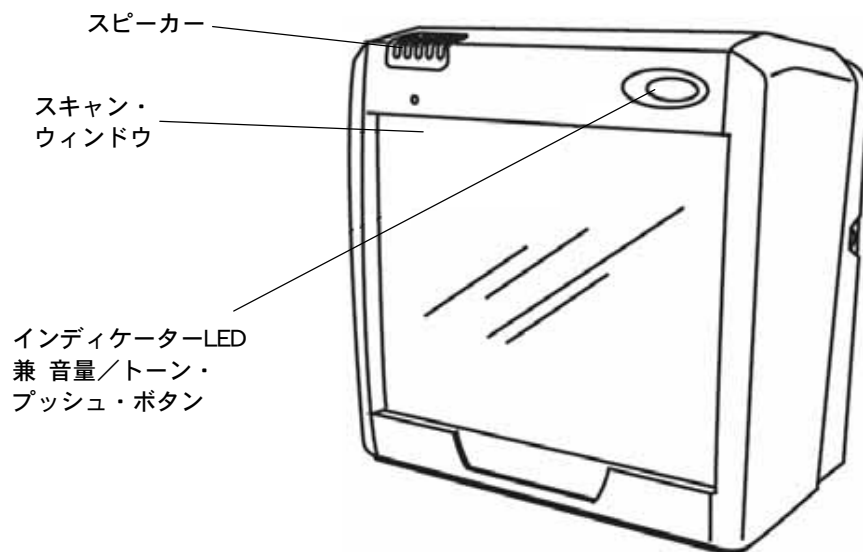
4685-L0G 固定式スキャナーは、食料品店、ドラッグストア、雑貨店、コンビニエンス・ストアで使用されている、中-高スループットのアプリケーションのパフォーマンスを最適化するように設計されています。4685-L0Gは、スキャナー分野を率いるパフォーマンスを提供します。

4685-L0Gは、幅広い全方向のスキャン・パターンを備えており、スキャンウィンドウ上を左右に通過またはスキャンウィンドウに近づけるどちらの方法でスキャンする場合でも、生産性とエルゴノミクスを最大に引き上げます。また、フラッシュメモリーによるソフトウェアの簡単なアップグレードが可能であり、RSSのサポートなど、最も一般的なコードをサポートします。

スキャナーは、付属のPOSインターフェース・ケーブルを使用してPOS端末に接続する必要があります。ケーブルは、POS端末の必要性に応じて以下のいずれかのポートに接続します。

- ・ RS-485 端末に接続する場合：9/E または9のポート、またはPOSスキャナーのポート
- ・ PLUⅢ拡張装置を通じてRS-485 端末に接続する場合: POSスキャナーのポート

### 4685-LOG 固定式スキャナー



コネクター・カバー

---

## 仕様

### 寸法

長さ	152 mm
幅	152 mm
高さ	97 mm
重量	1.1 kg

4685スキャナーをPOS端末に接続するPOSインターフェース・ケーブルの長さは4.5メートルです。

### 機関による承認

4685-L0G 固定式スキャナーは、以下の要件に準拠しています。

- ・VCCI クラス A

### ユーザーによる保守

4685-L0G 固定式スキャナーについてユーザーが行う保守作業は、以下に限定されています。

- ・スキャン・ガラスの表面を、ガラス・クリーナーを用いて、柔らかく、けば立ちのない布で定期的にクリーニングします。

### サポートされるスキャナー・コード

4685-L0G 固定式スキャナーは、以下のバーコードをサポートします。

- ・UPC-A /E (デフォルト)
- ・RSS-14 と拡張したRSS
- ・EAN/JAN-8/13 (デフォルト)
- ・EAN/JAN 2段ラベル
- ・EAN/JAN/UPC with Supplemental
- ・EAN/UCC-128
- ・Code 39 (デフォルト)
- ・Code 128 (デフォルト)
- ・Code 93
- ・インターリーブド 2 of 5
- ・CODABAR (NW-7)
- ・スタンダード 2 of 5

## スキャン特性

- |         |               |
|---------|---------------|
| ・スキャン線  | 20本（5方向、4ライン） |
| ・スキャン速度 | 2000/秒        |

## オペレーティング・システム

4685-L0G 固定式スキャナーを操作するには、以下のオペレーティング・システムまたはドライバーのいずれかが必要です。

### RS-485 モデル

- ・ IBM 4690 OS、 V3 R5 またはそれ以降のバージョン
- ・ JPOS 1.74 またはそれ以降のバージョン
- ・ OPOS リリース 1.74 またはそれ以降のバージョン

## 環境に関する考慮事項

### 作動時の温度と湿度

作動時の温度：10°C～40°C（50°F～104°F）

作動時の湿度： 5% to 95%

### 周辺照明のガイドライン

直射日光および店内照明の赤色成分がスキャナーの作動に影響を及ぼす可能性があります。そのため、スキャナー近辺の店内照明で使用するライトは赤色光の放出量が少ないものでなければなりません。以下の表では、スキャナーの設置区域では避けた方がよいライトのタイプとお勧めするライトのタイプについて示しています。スキャナー近辺での直射日光の量は、最小限に抑える必要があります。赤色光のレベルがもっとも重要な懸念事項ですが、スキャナー表面域の照度も200フィート・カンデラ（2150ルクス）を超えないようにしてください。

#### ライトのタイプ

赤色光の放出量が少ない（奨励）	赤色光の放出量が多い（避けてください）
A. 蛍光灯： ・昼光色 ・クール・ホワイト	A. 蛍光灯： ・デラックス・クール・ホワイト ・デラックス・ウォーム・ホワイト ・ソフト・ホワイト ・ピンク ・赤
B. 高輝度放電ランプ： ・透明な水銀蒸気 ・白色の水銀蒸気	B. 高輝度放電ランプ： ・ウォーム・デラックス水銀蒸気
	C. 白熱電球： ・タングステン

誤作動のもととなる光がスキャナーに到達しないようにするために、以下の方法をお勧めします。

- ・ 特定の方向を指す照明器具は避ける
- ・ ディフューザーのない照明器具は避ける
- ・ 照明の輝度を下げる
- ・ ライトの数を減らす
- ・ スキャナーまたは照明器具の位置を変える
- ・ 誤動作を招くような光は遮るか覆う
- ・ 窓からの自然光がスキャン面に入らない場所にスキャナーを配置する
- ・ 天井の高さは3メートル以上にならないようにする。

## 換気の要件

4685-L0G 固定式スキャナーは、内部換気ファンを使用しなくても作動するように設計されています。スキャナーの周囲は、適度に空気が対流している必要があります、熱源となるような装置を近くに置かないでください。

スキャナーを取り付ける際には、以下のことを確認してください。

- ・カウンター内の空洞を含むスキャナー近辺の周囲温度が40℃を超えないこと
- ・冷却のために対流空気が十分に流れるようになっていること

**注：**4685-L0G 固定式スキャナーは、完全に密閉されたチェックアウト・スタンドには設置しないでください。冷却用の対流空気を十分確保するため、スキャナーの下に最低105平方センチメートルの空気取り入れ口を用意してください。スキャナーの近辺に熱源となるような機器がある場合には、強制的に空気を冷却しなければならない場合があります。



---

## 第 2 章 4685-L0G 固定式スキャナーの構成

4685-L0G 固定式スキャナーの構成方法	2-2
構成可能な機能	2-3
オペレーター用インディケータ	2-3
バーコードのデコード	2-3
バーコードの拡張	2-4
スリープ・モードの制御	2-4
EAN/JAN 2 段ラベル読み取りの設定	2-4
構成のプリント	2-8

この章では、4685-L0G 固定式1面スキャナーを構成する際に選択できる設定値、それを使用可能にする方法、および有効な設定値の詳細をプリントする方法について説明します。

---

## 4685-L0G 固定式スキャナーの構成方法

4685-L0G 固定式スキャナーは、プログラミング・バーコードまたはPOS端末から送信されたコマンドによって構成されます。コマンドによる構成は、出荷時、無視する様プログラムされています。4685-L0G固定式スキャナーは、4690OSまたはJPOS/OPOS上では、IBM4698スキャナーとして機能します。スキャナーの機能は、それぞれ選択可能な設定値のリストと共に示されます。出荷前に設定されているデフォルトの設定値は下線で示しています。

---

## 構成可能な機能

### オペレーター用インディケータ

- ・ バーコードを読み取った後の音（ビープ音）：使用可、使用不可

- ・ 音量：最小、小、中、大

- ・ 音量スイッチ：使用可、使用不可

制御パネル上の音量スイッチを使用して、音量を制御することができます。このスイッチによる設定は一時的なものです。スキャナーがオフになった時点でデフォルト値に戻ります。オペレーターが音量を変更できないようにする場合は、使用不可を選択します。

- ・ 音の周波数：低660 Hz、中866 Hz、高1600 Hz

- ・ 二度読みのタイムアウト：400 ミリ秒、600 ミリ秒、800 ミリ秒、1000 ミリ秒

二度読みのタイムアウトとは、ラベルを読み取ってから次に同じラベルを読み取るまでの間隔のことです。この間は、スキャナーは同じラベルをもう一度読み取ることはできません。

デフォルトの時間は、二度読みを防止する必要性と重複品目を迅速にスキャンする必要性を折衷する値となっています。高いスループット（1分間にスキャンできる品目数）を必要としない場合は、二度読みタイムアウトの値を少し長めに設定するとよいでしょう。

### バーコードのデコード

- ・ UPC-A/Eの読み取り：使用可、使用不可

- ・ EAN-8/13の読み取り：使用可、使用不可

- ・ EAN/JAN2段ラベルの読み取り：使用可、使用不可

- ・ Add onの読み取り：使用可、使用不可

- ・ CODE39の読み取り：使用可、使用不可

- ・ CODE128の読み取り：使用可、使用不可

- ・ EAN/UCC-128の読み取り：使用可、使用不可

- ・ インターリーブド2 of 5の読み取り：使用可、使用不可

- ・ NW7の読み取り：使用可、使用不可

- ・ CODE93の読み取り：使用可、使用不可

- ・ スタンダード2 of 5の読み取り：使用可、使用不可

- ・ RSS-14と拡張したRSSの読み取り：使用可、使用不可

## バーコードの拡張

バーコードUPC-E、UPC-AおよびEAN-13では同じ数体系を共通で使用しており、スキャナーはこれらのすべてのコードを同じように取り扱います。デフォルト値は拡張しないです。

- ・ UPC-AをEAN-13に拡張：拡張する、拡張しない

UPC-Aは、EAN-13の12桁のサブセットです。最初にゼロがついていると、UPCの数値をEANの数値として取り扱うことができます。スキャナーでゼロをつけ加えることもできます。

- ・ UPC-EをUPC-Aに拡張：拡張する、拡張しない

UPC-Eは、UPC-A数値の短いバージョンです。スキャナーは、UPC-EデータをUPC-Aフォーマットに拡張することができます。

- ・ UPC-EをEAN-13に拡張：拡張する、拡張しない
- ・ EAN-8をEAN-13に拡張：拡張する、拡張しない

## スリープ・モードの制御

レーザーとモーターの寿命を最大化するために、4686-L0G 固定式スキャナーは、指定された時間中、非アクティブの状態にあると、スリープ・モードになります。この時間の値を指定することができます。ここで必要なことは、モーターのタイムアウト値がレーザーのタイムアウト値よりも長くなければならないということだけです。

- ・ レーザーのタイムアウト (5、10、15分)
- ・ モーターのタイムアウト (5、10、15、30、60分)

## EAN/JAN 2 段ラベル読み取りの設定

EAN/JAN 2段ラベル読み取り機能と、4690OS V3を店内で使用する場合、バーコード・ラベルを読み取ることによって、スキャナーの設定値を構成する必要があります。EAN/JAN 2段ラベル読み取り機能について、6個のペアのフラグとそのペアのタイプを設定することができます。デフォルト値および項目番号の設定値について、表2-1に示します。

表2-1 2段ラベル読み取り機能一覧

ペア 番号	各ペア・フラグ			各ペア・タイプ		
	項目 番号	データ (デフォルト)	説明	項目 番号	データ (デフォルト)	説明
1	0058	2122	21は、最初のラベルの先頭2桁を意味します。 22は、2番目のラベルの先頭2桁を意味します。	0072	00	00 : EAN/JAN13 および EAN/JAN13の各2桁 01 : EAN/JAN13 および EAN/JAN8の各2桁 02 : EAN/JAN13 および EAN/JAN8の各2桁 03 : ペア使用不可
2	0059	2128	21は、最初のラベルの先頭2桁を意味します。 28は、2番目のラベルの先頭2桁を意味します。	0073	00	
3	005A	2129	21は、最初のラベルの先頭2桁を意味します。 29は、2番目のラベルの先頭2桁を意味します。	0074	00	
4	005B	2122	21は、最初のラベルの先頭2桁を意味します。 22は、2番目のラベルの先頭2桁を意味します。	0075	00	
5	040D	2128	21は、最初のラベルの先頭2桁を意味します。 28は、2番目のラベルの先頭2桁を意味します。	0324	00	
6	040E	2129	21は、最初のラベルの先頭2桁を意味します。 29は、2番目のラベルの先頭2桁を意味します。	0325	00	

#### 設定の流れ

1. 切り替えラベル
2. ペア・フラグ設定ラベル
3. ペア・タイプ設定ラベル
4. 切り替えラベル

それぞれのバーコード・ラベルの設定は、CODE128バーコードによって行われます。  
基本的なフォーマットは次の通りです。

CODE128 [<FNC3>、項目番号、データ、<CR>]

ここで、

<FNC3> および <CR>は、CODE128の機能コードです。  
項目番号およびデータは、ペア・フラグ設定バーコードのペアです。

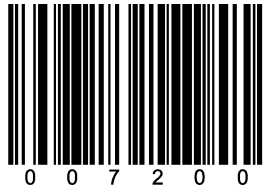
例えば、97と19のペア・フラグのみを使用するものとします。その場合、以下の7つの設定ラベルと切り替えラベルを準備する必要があります。

- ペア1のペア・フラグ設定ラベル[<FNC3>, 0058, 9719, <CR>]



- ペア1のペア・タイプ設定ラベル

[<FNC3>, 0072, 00 (EAN/JAN13およびEAN/JAN13の各2桁) , <CR>]



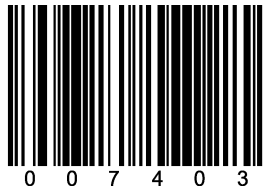
- ペア2のペア・タイプ設定ラベル

[<FNC3>, 0073, 03 (ペア使用不可) , <CR>]



- ペア3のペア・タイプ設定ラベル

[<FNC3>, 0074, 03 (ペア使用不可) , <CR>]



- ペア4のペア・タイプ設定ラベル

[<FNC3>, 0075, 03 (ペア使用不可) , <CR>]



- ペア5のペア・タイプ設定ラベル  
[<FNC3>, 0324, 03 (ペア使用不可) , <CR>]



- ペア6のペア・タイプ設定ラベル  
[<FNC3>, 0325, 03 (ペア使用不可) , <CR>]



---

## 構成のプリント

POS端末のプリンターを使用して、スキャナーの構成をプリントすることができます。

1. POS端末の電源を入れて、初期プログラムをロードします（IPL）。

注：詳細については、オペレーティング・システムの問題判別ガイドを参照してください。

2. POS端末のキーボードでS1キーを押して、91を入力し、S2キーを押します。  
“T0010 ENTER TEST REQUEST”というメッセージがPOS端末のディスプレイに表示されます。
3. 96を入力し、S2キーを押します。  
“PRINTING CONFIGURATION”というメッセージがPOS端末のディスプレイに表示され、スキャナーの構成がプリンターにプリントされます。
4. このモードを終了するには、POS端末のキーボードから99を入力し、S2キーを押します。

使用している端末のタイプに応じて、リファレンス・ディスクットもしくはサービス・ディスクットのいずれかによって、スキャナー構成をプリントすることができます。いずれのディスクットを使用すべきかについては、端末のハードウェア保守マニュアルを参照して、そのディスクット用の手順に従ってください。

---

## 第 3 章 スキャナーの取り付け

手順.....	3-2
スキャナーの構成.....	3-2
4690 OS のオンライン・テスト.....	3-3

この章では、4685-LOG 固定式スキャナーの取り付けおよびテストで使用する情報を提供します。

## 手順

### 重要事項

4685のパッケージには以下のキットが入っています。

- ・4685-L0G 固定式スキャナー
- ・POS インターフェース・ケーブル
- ・クイック・リファレンス・ガイド (29R0608)。

以下の手順に沿って4685-L0G 固定式スキャナーを取り付けます。

1. パッケージからすべての品目を取り出して、上記の品目を確認します。
2. スキャナー設置に最適な場所を見つけます。場所の選定上、検討すべきことは以下のとおりです。
  - ・スキャナーに接続するケーブルの配置：ケーブルや接続装置の破損を防ぎ、また不用意に扱われることがないように配置されるようにします。
  - ・取り付け台の安定性。過渡の振動や衝撃を受けたり、水がこぼれるような場所にスキャナーを置くことは避けてください。
3. コネクター・カバーを取り外します。



#### 危険

稲妻を伴う雷が発生している間は、装置を操作しないでください。また、シグナル・ケーブルを接続したり、切断しないでください。



#### 注意

安全のため、電源コードは正しく配線、接地された電源コンセントに接続してください。

感電を防ぐため、端末とスキャナー間のインターフェース・ケーブルを接続する際には、電源コードを電源コンセントから抜いておいてください。

4. 4685-L0G 固定式スキャナーをPOS端末に接続する前に、端末の電源がオフになっていることを確認してください。
5. POSインターフェース・ケーブルを端末からカウンターの穴に通す前に、そのケーブルを確認してください。
6. POSインターフェース・ケーブルの一端をPOS端末のコネクターに接続します。
7. POSインターフェース・ケーブルのもう一端を “POS TERMINAL” と示されたスキャナーのコネクターに接続します。
8. コネクター・カバーをスキャナーに戻します。

## スキャナーの構成

### 重要

POSシステムがスキャナー用に構成されていない場合は、この段階でシステムを構成してください。スキャナーを検証し、テストを完了するためには、POS端末が正しく構成されている必要があります。

---

## 4690 OS のオンライン・テスト

1. POS端末がオンになっており、初期プログラム・ローダー（IPL）が完了していることを確認します。

注：詳細については、オペレーティング・システムの*問題判別ガイド*を参照してください。

2. POS端末でS1キーを押して、91を入力し、S2キーを押します。“T0010 ENTER TEST REQUEST”というメッセージがPOS端末に表示されます。
3. 171を入力し、S2キーを押します。“T1701 READ A LABEL WITH SCANNER”というメッセージがPOS端末に表示されます。
4. 数枚のバーコード・ラベルをスキャンします。バーコードが正常にスキャンされた場合は、スキャナーに緑色のLEDが点灯し、バーコードがPOS端末にプリントされます。

注：スキャナーが正常に作動しなかった場合は、保守サービス担当者に連絡してください。

4685-LOG 固定式スキャナーが正しく機能した場合は、取り付けは完了しました。



---

## 第 4 章 操作情報と説明

緑色のインディケータ	4-2
操作モード	4-2
4685 によるスキャン	4-3
スピーカー音量の調整	4-4
ユーザーによる保守	4-5
インターフェースの選択	4-6

この章では以下の手順について説明します。

- ・ 4685-LOG 固定式スキャナーの使用
- ・ スキャナーの最良のパフォーマンスを確保するための保守作業の実行

## 緑色のインディケータ

以下の表は、緑色のLEDが示すスキャナーの各状態についての説明です。

LED表示	連続点灯時間	説明
スキャナー作動中 (通常モード)	スキャナー（緑色）LEDが弱く一定に点灯 	スキャナーの作動準備完了。スキャナーを使用できます。
正常に読み取り完了表示	スキャナー（緑色）LEDが強くと点滅 	バーコードの読み取りとデコードが完了したことを示します。
プログラム・モード表示	スキャナー（緑色）LEDが連続点滅 	スキャナーはラベル・プログラミング・モードになっています。プログラミング・モードを終了するには一端電源を切って入れなおしてください。
スリープ・モード表示	スキャナー（緑色）LEDがゆっくりと点滅 	スキャナーのモーターまたはレーザーのスイッチが自動的に切り替わり、長時間作動していないためスリープ・モードになっています。
ホスト使用不可	スキャナー（緑色）LEDが1秒消えて1/10秒点灯 	ホストによりスキャン使用不可

## 操作モード

4685-L0G 固定式スキャナーには、次の2つの操作モードがあります。

### 通常モード：

スキャナーは完全に機能しており、スキャンする準備ができています。状態を表示するインディケータの緑色のランプが弱くと点灯します。

### スリープ・モード：

スキャナーがあらかじめ設定した一定時間使用されていない場合は、スリープ・モードになります。状態を表示するインディケータは、一定間隔で点滅しません。

スリープ・モードから通常モードに戻るには、水平スキャン・ウィンドウ上で手または物を動かしてください。あるいは、スピーカーの音量スイッチを一度押してください。

---

## 4685 によるスキャン

以下の文章では、バーコードを正しく読み取るための手順を説明します。

商品のバーコードを見つけて、そのコードが側面にくるように商品を持ちます。

バーコードがスキャン・ウィンドウから15cm以上離れている場合は、商品を回転させるか傾けて、バーコードが近くなるように動かします。通常、スキャナーは商品が多少傾いても、一回目でバーコードを正しく読み取ります。バーコードをウィンドウに接触させる必要はありません。

スキャン・ウィンドウ上で、連続して商品のバーコードを通します。スキャナーがバーコードを読み取ると、スキャナーの状態を表示するインディケーターが弱い緑色から強い緑色に変化し、スピーカーからビープ音が鳴ります。

注：ビープ音をオフにすることも可能です。

スキャナーがバーコードを正しく読み取ったことを知らせるビープ音が鳴らず、点灯もしない場合は、ウィンドウ上でその商品に戻して通過させることによってやり直してください。やり直して成功した場合は、スキャナーにそのバーコードを二度読みさせないように注意してください。やり直しのために商品に戻して通過させた後に、再度バーコードを読み取らないように気をつけてください。

バーコード読み取りの失敗にはいくつかの原因が考えられます。数回やり直してもスキャナーがバーコードを読み取らない場合は、以下のチェックリストに従って順番に作業してください。

- ・スキャナーのレーザーがオンになっていることを確認してください。POS端末のエラーのため、あるいはPOS端末を作動しているプログラムがタイムアウトになったため、スキャナーが使用不可になる場合があります。
- ・バーコードに汚れや損傷がないか確認してください。
- ・パッケージの一部やオペレーターの指がスキャン・ウィンドウとバーコードの間をさえぎっていないか確認してください。
- ・スキャン・ウィンドウが汚れていないか確認してください。スキャン・ウィンドウをきれいにする方法については、「ユーザーによる保守」を参照してください。
- ・玩具や衣類によく使用されるビニール包装上のバーコードの場合は、バーコードが隠れてしまったり、ゆがんでしまっていることがあります。バーコードの部分をまっすぐに伸ばしてからやり直してください。
- ・冷凍品や冷蔵品は、霜や露が付着することがあります。このようなコーティングは指やタオルで拭いてください。
- ・商品のパッケージが折り重なって、バーコードが隠れていることがあります。バーコードの部分をまっすぐに伸ばしてからやり直してください。
- ・同じ商品番号を二度読みしようとする場合、スキャナーは自動的に二回の読み取りの間で一時停止します。これは、スキャナー上で商品を移動させる手の動きを止めたときに、スキャナーが同じ商品ラベルを二度読みすることを防ぐためです。
- ・スキャナーがスリープ・モードになっている場合があります。スキャナーのモーターとレーザーがオフになり、緑色のインディケーター・ランプが点滅します。スキャナーを再度アクティブにするためには、水平スキャン・ウィンドウの上で手を振るか、スピーカーの音量スイッチを押してください。

---

## スピーカー音量の調整

ビープ音の大きさを調整するためには、スキャナーの制御パネルにあるスピーカー音量スイッチを使用してください。

注：スキャナーの電源を切った場合、またはPOS端末やストア制御装置で構成情報を再ロードすると、音量の設定はシステム・プログラムによる設定値に戻ります。

### 音量／トーン・プッシュ・ボタン

音量／トーンのプッシュ・ボタンにはその他の機能もあります。選択できる機能は、ボタンを押し続ける時間によって異なります。

---

## ユーザーによる保守

日常の保守：オペレーターは、次の作業だけをしてください。

- ・ウィンドウのガラスおよび上部表面のクリーニング

ウィンドウのガラスは少なくとも一日に2回クリーニングしてください。研磨剤を含まない水性ガラスクリーナーを用いて、けぼだたないタオルまたはティッシュペーパーを使ってクリーニングしてください。

---

## インターフェースの選択

スキャナーを異なるインターフェースのPOS端末に接続する場合、その前に、適切なインターフェースを選択し、設定する必要があります。

異なるインターフェースのPOS端末にスキャナーを接続する場合は、その前に、IBMのサービス担当者にお問い合わせください。

---

## 第 5 章 保守担当者のための保守情報

トラブルシューティング	5-2
処置	5-2
診断テスト	5-4
自己診断 (BAT)	5-4
診断テスト	5-4
部品	5-5
接続および切り離し	5-6
POS インターフェース・ケーブル	5-6
スキャナーの安全性のチェック	5-7
保守担当者のための安全性のチェックリスト	5-7
スキャナーの点検	5-7

この章は、4685-L0G 固定式スキャナーの保守サービス担当者向けの内容です。

## トラブルシューティング

### 処置

以下の内容は、4685-L0G 固定式スキャナーにかかわる問題を解決するための手順です。

状態	原因と処置
<ul style="list-style-type: none"><li>・ スキャナーの電源がオンにならない。</li><li>・ 電源がオンになったときにスキャナーのピープ音が鳴らない。</li><li>・ スキャナーの状態を表示するインディケータが点灯しない。</li></ul>	<p><b>原因：</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ インターフェース・ケーブルがPOSシステムにしっかりと接続されていない。</li><li>・ スキャナーが故障している。</li></ul> <p><b>処置：</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. AC電源をオフにして、POSシステムとスキャナー間の接続を確認する。</li><li>2. AC電源をオフにして、インターフェース・ケーブルをスキャナーから取り外す。これを他のスキャナーに接続して、正しく機能するか確かめる。</li><li>3. 2.の手順でスキャナーが正常に機能しない場合は、スキャナー装置を取り替える。もしくは、インターフェース・ケーブルを取り替える。</li></ol> <p><b>取り替え：</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ スキャナー装置</li><li>・ インターフェース・ケーブル</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ どのOSでもスキャナーを認識しない。</li></ul>	<p><b>原因：</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ インターフェース・ケーブルがPOSシステムにしっかりと接続されていない。</li><li>・ スキャナーが故障している。</li></ul> <p><b>処置：</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. AC電源をオフにして、POSシステムとスキャナー間の接続を確認する。</li><li>2. AC電源をオフにして、インターフェース・ケーブルをスキャナーから取り外す。これを他のスキャナーに接続して、正しく機能するか確かめる。</li><li>3. 2.の手順でスキャナーが正常に機能しない場合は、スキャナー装置を取り替える。もしくは、インターフェース・ケーブルを取り替える。</li></ol> <p><b>取り替え：</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ スキャナー装置</li><li>・ インターフェース・ケーブル</li></ul>

状態	原因と処置
<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み取りレーザー光線 (VLD) が点灯しない。</li> <li>・ポリゴン・ミラーが回転しない。</li> </ul>	<p><b>原因：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターフェース・ケーブルがPOSシステムにしっかりと接続されていない。</li> <li>・スキャナーがPOS端末のOS向けに正しく構成されていない。</li> <li>・スキャナーがスリープ・モードになっている。</li> <li>・POS インターフェース・ケーブルに障害がある。</li> <li>・スキャナーが故障している。</li> </ul> <p><b>処置：</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. RS-485モデルの場合、POSシステムの電源を切って、POSシステムとスキャナー間の接続を確認する。 POSインターフェース・ケーブルは以下に接続されていなければならない。 (a) POS端末のポート9/Eまたは9 (b) PLU III拡張装置のPOSスキャナーのポート (c) スキャナー・コネクタの1つの端末 USBモデルの場合、ポートからPOSインターフェース・ケーブルのプラグを抜いて、もう一度そのプラグを差し込む。(POS端末の電源を切る必要はない)</li> <li>2. POSシステム担当者に連絡して、POSシステムの構成を確認する。</li> <li>3. スキャナーがスリープ・モードになっている場合は、スキャナー上で手を動かすことで通常モードに戻るはずである。しかし、場合によってはスキャナーのスイッチを押してモードを変更する必要がある。</li> </ol> <p><b>取り替え：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキャナー装置</li> <li>・インターフェース・ケーブル</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み取りレーザー光線 (VLD) は点灯しているが、スキャナーがなかなかバーコード・ラベルを読み取らない。スキャナーは、一回の通過では読み取らない、またはまったく読み取らない。</li> </ul>	<p><b>原因：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バーコード・ラベルに傷があるか汚れている。</li> <li>・バーコード・ラベルに欠陥がある。</li> <li>・スキャナー・ウィンドウにひびがあるか汚れている。</li> <li>・スキャナーが故障している。</li> </ul> <p><b>処置：</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. バーコード・ラベルの状態が良好か確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・バーコード・ラベルが汚れているか傷がある場合は、汚れを落とすか、またはキーボードでデータを入力する。</li> <li>・スキャナーが1つのバーコードを読み取らない場合は、別のコードで試してみる。別のコードをスキャナーが読み取る場合は、スキャナーの状態は良好である。</li> </ul> </li> <li>2. スキャン・ウィンドウをきれいにする。</li> </ol> <p><b>取り替え：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキャナー装置</li> </ul>

---

## 診断テスト

以下の診断テストは4685-L0G向けのものです。

### 自己診断 (BAT)

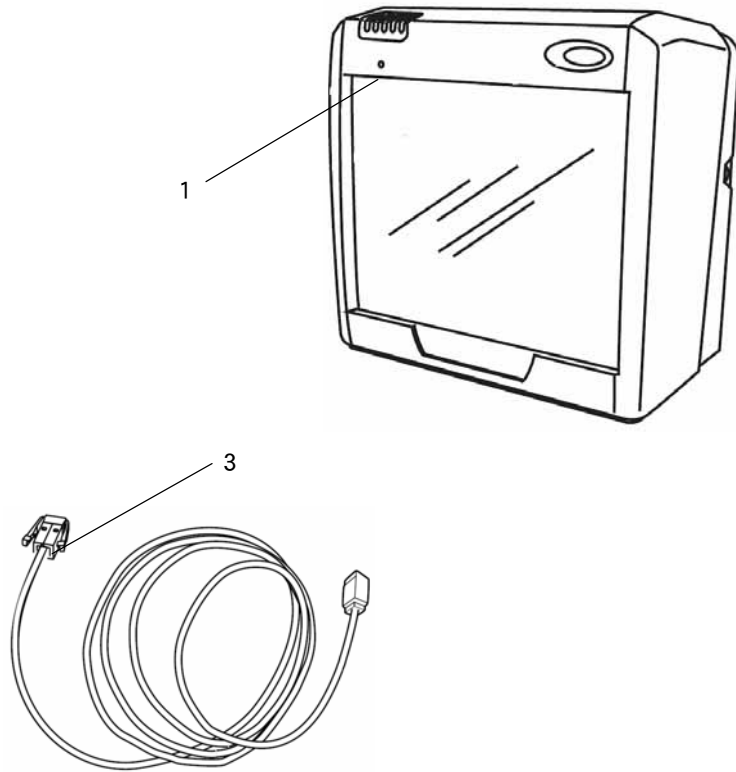
基本検証テスト (BAT) は自己診断テストであり、装置に電力が供給されている状態で実行し、ブザー音とスキャナー状態を表示するインディケータ (緑色) によって表示されます。

	ブザー音	スキャナーの状態を示すインディケータ (緑色)
電力が供給された時	-	-
BATの完了	ブザー1回	緑色のランプ
BATのエラー	その他の状態になる	

## 診断テスト

RS-485モデルの場合、診断ディスクから診断プログラムをロードし、テストを実行します。

# 部品



索引	部品	FRU部品番号	フィーチャー・コード
1	4685-L0G スキャナー装置 SIO インターフェース	29R0613	4850
2			
3	FRU SIO インターフェース・ケーブル	29R0619	—
4			

---

## 接続および切り離し

### 重要

RS-485モデルの場合、部品を切り離す前にPOSシステムの電源を切ってください。

## POS インターフェース・ケーブル

### 接続

ケーブル・コネクタを、留め金に掛かるまでスキャン・コネクタに差し込みます。

### 切り離し

1. チェックアウト・スタンドからスキャナーを取り外します。
2. ケーブルのコネクタの留め金を押し下げて、POSインターフェース・ケーブルをスキャナーから取り外します。

---

## スキャナーの安全性のチェック

この章では、保守作業を行っている際に起こり得る、保守担当者にとっての危険を識別する方法について説明します。

## 保守担当者のための安全性のチェックリスト

### スキャナーの点検

*Electrical Safety for IBM Customer Engineers, S229-8124*のセクション1を参照してください。

以下に説明する点検手順は、4685-L0Gスキャナーに関連した危険な状況を識別する参考となるように構成されています。すべての装置は、ユーザーおよび保守担当者を傷害から保護するように設計されています。以下の手順ではカバーされないような危険に対しては、必要な予防措置を取ってください。

危険が生じた場合には、その危険がどの程度深刻になり得るか、つまりその問題を解決しないまま作業を続行することが可能であるかどうかを判断することが重要です。

以下の状況と起こり得る危険を確認してください。

v電気的な危険：フレーム上の基本電圧は、重大または致命的な感電を引き起こす恐れがあります。v機械的な危険：ハードウェアのゆるみ、紛失、磨耗または破損は、重大な障害を引き起こす可能性があります。vIBMが指定する以外の薬品または溶剤の使用

IBM以外の装置または追加装置はすべて取り外してください。その後、以下のチェックリストに従って装置を点検してください。

#### チェックリスト：

- \_\_\_ 1. AC電源コードを壁のAC電源コンセントから抜いてください。
- \_\_\_ 2. ACまたはDCの電源コードが、それぞれ破損または磨耗していないか確認してください。
- \_\_\_ 3. 装置がIBM以外の第三者によって変更されていないかどうかを確認してください。変更されている場合は、R009 非-IBM変更追加調査用紙に記入済みであるか確認してください。
- \_\_\_ 4. 損傷しているワイヤーがないか、またはそのインシュレーションが紛失していないか確認してください。
- \_\_\_ 5. 電気関係の接続や端子が露出していないか確認してください。
- \_\_\_ 6. 金属による擦り傷、汚染物質、水、液体、火災、煙などによる損傷の跡がないか確認してください。
- \_\_\_ 7. AC電源コードとDC電源ケーブルが、指定の電圧条件を満たしているか確認してください。
- \_\_\_ 8. AC電源コードをAC電源コンセントに接続し、装置がオンになるか確認してください。



---

## 付録. スキャナーのプログラム

セットアップ .....	A-2
出荷時の設定に戻す .....	A-3
構成コマンド 無視/ 非無視 .....	A-5
テスト・モード .....	A-6
サポートされるバーコード .....	A-7

## セットアップ

このセクションに記載されたバーコードをスキャンすることで、スキャナーの構成をセットアップ、または変更することができます。

プログラミングの**スイッチ・ラベル**をスキャンし、スキャナーをプログラミング・モードにします。緑色のLEDが付いて、スキャナーはプログラミング・モードであることを示します。

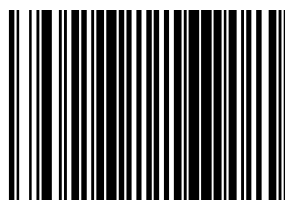
変更したい機能に応じたプログラミングのバーコードをスキャンしてください。スキャナーがバーコードを読み取り、設定がスキャナーのメモリーに保存されるとビーブ音が3回鳴ります。必要に応じて続きのプログラミング・バーコードをスキャンしてください。

スキャンしたバーコードが無効の場合、スキャナーは“高い音”（速いビーブ音）を鳴らし、拒絶反応を示します。

必要なプログラミング・バーコードのスキャンを全て完了した後、プログラミングの**スイッチ・ラベル**をもう一度スキャンしてプログラミング・モードを終了してください。緑色のLEDが弱く付いて、スキャナーは通常操作の準備ができたことを示します。

スキャナーやプログラミング・バーコードの詳細については、以下のWebサイトを参照してください。

<https://partners.psc.com/marketlit/Send.aspx?file=R44-2365A>



スイッチ・ラベル

---

## 出荷時の設定に戻す

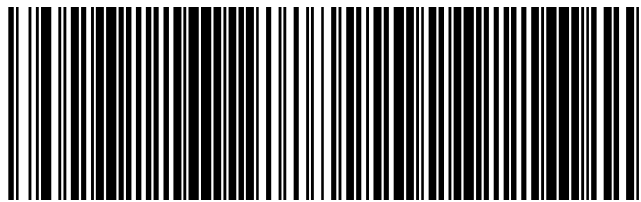
このバーコードはスキャナーの取り付け以降にプログラムした機能を全てリセットします。取り扱いには気を付けてください。

このバーコードをスキャンする前および後にスイッチ・ラベルをスキャンしないでください。

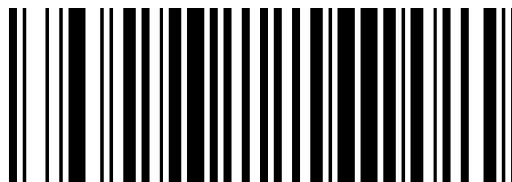
工場出荷時のデフォルト設定に戻すには、このバーコードをスキャンしてください。

工場出荷時の設定に戻すプロセスを行うには、以下の4つのステップを順番にスキャンしてください。

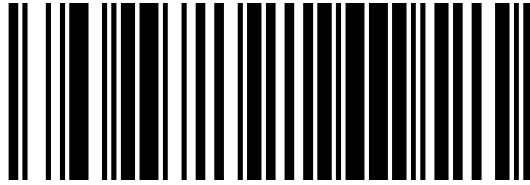
### ステップ1



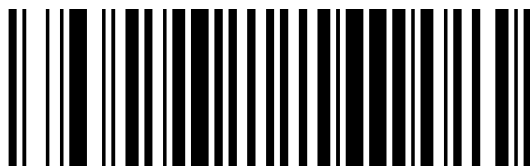
### ステップ2



ステップ3



ステップ4



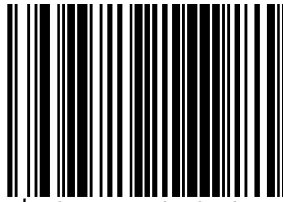
## 構成コマンド 無視/ 非無視

構成コマンドは、出荷前はデフォルト値として無視されます。  
しかし、以下のバーコードをスキャンすることによるコマンドによって構成することが可能です。

この機能を設定するには以下を行ってください。

1. スイッチ・ラベルをスキャンしてください。
2. 以下の無視または非無視バーコードをスキャンしてください。ここにあるその他の未使用バーコードや、おもてになっているページにあるバーコードなどを全て隠してください。スキャナーは、スキャンしようとしているバーコードのみを読み取るようにしてください。
3. 続けて、スイッチ・ラベルをスキャンしてプログラミングを完了してください。

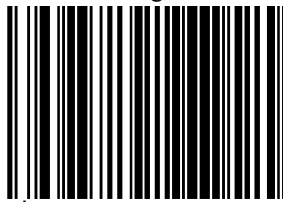
IBM Port 17 Dis Igno Co



7 0 5 5 0 0 0

コマンド=非無視

IBM Port 17 Ignore Comma



7 0 5 5 0 0 2

コマンド=無視

---

## テスト・モード

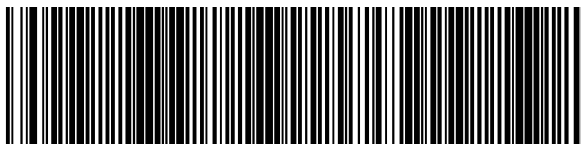
この機能は、スキャナーをテスト・モード、あるいは“デモ”モードにするときに使用してください。

この特殊なモードは、スキャナーのインターフェースを無効にします。つまり、バーコード・データはスキャナーのインターフェースを通してホストに送信されず、このため、POS端末の反応を待たずにバーコードを連続してスキャンすることが可能になります。

スキャナーを通常モードに戻すためには、以下のテスト・モード＝無効のバーコードをスキャンしてください。

このバーコードをスキャンする前および後にスイッチ・ラベルをスキャンしないでください。

テスト・モード＝無効のバーコードをスキャンすることで、二重の読み取りのタイムアウトを600ミリ秒に設定できます。



テスト・モード＝無効



テスト・モード＝有効

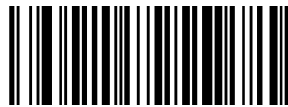
---

## サポートされるバーコード

### UPC-A

この機能を設定するためには以下を行ってください。

1. スイッチ・ラベルをスキャンしてください。
2. 以下の有効または無効バーコードをスキャンしてください。ここにあるその他の未使用バーコードや、おもてになっているページにあるバーコードなどを全て隠してください。スキャナーは、スキャンしようとしているバーコードのみを読み取るようにしてください。
3. 続けて、スイッチ・ラベルをスキャンしてプログラミングを完了してください。



UPC-A=無効



UPC-A=有効

## UPC-E

この機能を設定するためには以下を行ってください。

4. スイッチ・ラベルをスキャンしてください。
5. 以下の有効または無効バーコードをスキャンしてください。ここにあるその他の未使用バーコードや、おもてになっているページにあるバーコードなどを全て隠してください。スキャナーは、スキャンしようとしているバーコードのみを読み取るようにしてください。
6. 続けて、スイッチ・ラベルをスキャンしてプログラミングを完了してください。



UPC-E=無効



UPC-E=有効

## RSS-14

この機能を設定するためには以下を行ってください。

1. スイッチ・ラベルをスキャンしてください。
2. 以下の有効または無効バーコードをスキャンしてください。ここにあるその他の未使用バーコードや、おもてになっているページにあるバーコードなどを全て隠してください。スキャナーは、スキャンしようとしているバーコードのみを読み取るようにしてください。
3. 続けて、スイッチ・ラベルをスキャンしてプログラミングを完了してください。



RSS-14=無効



RSS-14=有効

## 拡張 RSS

この機能を設定するためには以下を行ってください。

1. スイッチ・ラベルをスキャンしてください。
2. 以下の有効または無効バーコードをスキャンしてください。ここにあるその他の未使用バーコードや、おもてになっているページにあるバーコードなどを全て隠してください。スキャナーは、スキャンしようとしているバーコードのみを読み取るようにしてください。
3. 続けて、スイッチ・ラベルをスキャンしてプログラミングを完了してください。



拡張RSS=無効



拡張RSS=有効

## EAN/JAN-8

この機能を設定するためには以下を行ってください。

1. スイッチ・ラベルをスキャンしてください。
2. 以下の有効または無効バーコードをスキャンしてください。ここにあるその他の未使用バーコードや、おもてになっているページにあるバーコードなどを全て隠してください。スキャナーは、スキャンしようとしているバーコードのみを読み取るようにしてください。
3. 続けて、スイッチ・ラベルをスキャンしてプログラミングを完了してください。



EAN/JAN-8=無効



EAN/JAN-8=有効

## EAN/JAN-13

この機能を設定するためには以下を行ってください。

1. スイッチ・ラベルをスキャンしてください。
2. 以下の有効または無効バーコードをスキャンしてください。ここにあるその他の未使用バーコードや、おもてになっているページにあるバーコードなどを全て隠してください。スキャナーは、スキャンしようとしているバーコードのみを読み取るようにしてください。
3. 続けて、スイッチ・ラベルをスキャンしてプログラミングを完了してください。



EAN/JAN-13=無効



EAN/JAN-13=有効

## EAN/JAN 2 段ラベル

この機能を設定するためには以下を行ってください。

1. スイッチ・ラベルをスキャンしてください。
2. 以下の有効または無効バーコードをスキャンしてください。ここにあるその他の未使用バーコードや、おもてになっているページにあるバーコードなどを全て隠してください。スキャナーは、スキャンしようとしているバーコードのみを読み取るようにしてください。
3. 続けて、スイッチ・ラベルをスキャンしてプログラミングを完了してください。



EAN/JAN2段ラベル＝無効



EAN/JAN2段ラベル＝有効

## EAN/UCC-128

この機能を設定するためには以下を行ってください。

1. スイッチ・ラベルをスキャンしてください。
2. 以下の有効または無効バーコードをスキャンしてください。ここにあるその他の未使用バーコードや、おもてになっているページにあるバーコードなどを全て隠してください。スキャナーは、スキャンしようとしているバーコードのみを読み取るようにしてください。
3. 続けて、スイッチ・ラベルをスキャンしてプログラミングを完了してください。



EAN/UCC-128=無効



EAN/UCC-128=有効

## Code39

この機能を設定するためには以下を行ってください。

1. スイッチ・ラベルをスキャンしてください。
2. 以下の有効または無効バーコードをスキャンしてください。ここにあるその他の未使用バーコードや、おもてになっているページにあるバーコードなどを全て隠してください。スキャナーは、スキャンしようとしているバーコードのみを読み取るようにしてください。
3. 続けて、スイッチ・ラベルをスキャンしてプログラミングを完了してください。



Code39=無効



Code39=有効

## Code128

この機能を設定するためには以下を行ってください。

1. スイッチ・ラベルをスキャンしてください。
2. 以下の有効または無効バーコードをスキャンしてください。ここにあるその他の未使用バーコードや、おもてになっているページにあるバーコードなどを全て隠してください。スキャナーは、スキャンしようとしているバーコードのみを読み取るようにしてください。
3. 続けて、スイッチ・ラベルをスキャンしてプログラミングを完了してください。



Code128=無効



Code128=有効

## Code93

この機能を設定するためには以下を行ってください。

1. スイッチ・ラベルをスキャンしてください。
2. 以下の有効または無効バーコードをスキャンしてください。ここにあるその他の未使用バーコードや、おもてになっているページにあるバーコードなどを全て隠してください。スキャナーは、スキャンしようとしているバーコードのみを読み取るようにしてください。
3. 続けて、スイッチ・ラベルをスキャンしてプログラミングを完了してください。



Code93=無効



Code93=有効

## インターリーブド 2 of 5

この機能を設定するためには以下を行ってください。

1. スイッチ・ラベルをスキャンしてください。
2. 以下の有効または無効バーコードをスキャンしてください。ここにあるその他の未使用バーコードや、おもてになっているページにあるバーコードなどを全て隠してください。スキャナーは、スキャンしようとしているバーコードのみを読み取るようにしてください。
3. 続けて、スイッチ・ラベルをスキャンしてプログラミングを完了してください。



12 of 5 = 無効



12 of 5 = 有効

## Codabar (NW-7)

この機能を設定するためには以下を行ってください。

1. スイッチ・ラベルをスキャンしてください。
2. 以下の有効または無効バーコードをスキャンしてください。ここにあるその他の未使用バーコードや、おもてになっているページにあるバーコードなどを全て隠してください。スキャナーは、スキャンしようとしているバーコードのみを読み取るようにしてください。
3. 続けて、スイッチ・ラベルをスキャンしてプログラミングを完了してください。



Codabar=無効



Codabar=有効

## スタンダード 2 of 5

この機能を設定するためには以下を行ってください。

1. スイッチ・ラベルをスキャンしてください。
2. 以下の有効または無効バーコードをスキャンしてください。ここにあるその他の未使用バーコードや、おもてになっているページにあるバーコードなどを全て隠してください。スキャナーは、スキャンしようとしているバーコードのみを読み取るようにしてください。
3. 続けて、スイッチ・ラベルをスキャンしてプログラミングを完了してください。



スタンダード2 of 5=無効



スタンダード2 of 5=有効





部品番号: 29R0623

Printed in Japan